

第10次鳥取市総合計画（案）の市長答申概要録

1. 日 時 平成28年1月13日（水）午前11時～11時30分
2. 場 所 鳥取市役所本庁舎3階 第一応接室
3. 出 席 鳥取市総合企画委員会 委員長 安田晴雄、副委員長 尾崎直美
4. 鳥 取 市 市長、副市長、企画推進部長

5. 概 要

（1）開会（塩谷創生戦略室長）

（2）答申

（3）概要説明要旨（安田委員長）

- ・平成26年10月に市長より第10次鳥取市総合計画の諮問を受け、市民の皆さんのご意見を踏まえながら9回の会議により討議を重ね、本日成案を提出する。
- ・成案では、「鳥取市を飛躍させる、発展させる」をまちづくりの理念に、めざす将来像を「いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる、自信と誇り・夢と希望に満ちた鳥取市」としている。
- ・鳥取市は人口減少、若者の定住や魅力ある雇用・就業環境の確保、まちの賑わいづくりといった諸課題が山積している。
- ・これからは地域の特色や個性を生かしたまちづくりが求められる地方創生の時代。総合戦略で取り組む各施策は総合計画の重点施策にも位置づけており、基本計画に掲げる施策や今後策定する「実施計画」の事業などを着実に実行し、鳥取市が地方創生の牽引役となるくらいの気概で取り組んでいただきたい。
- ・平成30年4月の中核市移行を踏まえ、よりきめ細かな市民サービスの提供につとめるとともに、行財政改革の積極的な推進など、自立した自治体経営の実現に取り組んでいただきたい。
- ・総合計画が絵に描いた餅にならないよう、PDCAサイクルにより成果を重視した進行管理のもと、市民ニーズを的確にとらえた施策の推進をお願いしたい。

（4）市長コメント要旨

- ・計9回の委員会での審議を経て、中身の濃い計画となっている。
これまでの審議に感謝申し上げる。
- ・これからの10年は本市の将来にとって非常に重要であり、地方創生の取組を鳥取市からという気持ちで取り組んでいきたい。
- ・鳥取市には素晴らしい魅力がたくさんある。こうした魅力を生かした取組を総合戦略と総合計画を一体的に連動させながら進めていきたい。
- ・引き続き、計画の評価・検証等よろしくをお願いしたい。

（5）その他

○尾崎副委員長

- ・まちづくりの方向の基本的な考え方の一つを「ひとを大切にすまち」としている。
次代を担う人たちがいきいきと暮らせるまちづくりを進めてほしい。
- ・県立美術館をぜひ本市に誘致してほしい。現本庁舎跡地などを有効活用し、文化圏として位置づけてほしい。